

スタートアップガイド

初版 平成26年10月16日

本書では、インストールが完了したのちに、どのようにして発信業務をスタートさせるのかー 連の動作を解説いたします。

より詳しい情報は、各操作説明書をご参照ください。

TDAの接続と電話回線およびヘッドセットの接続、TDAドライバのセットアップ、DBのセット アップおよび、CallMighty2のインストールが完了していることが必要です。 【サーバー上での操作】

1. 管理プログラムの起動	 5
2. テーブルの生成(リストデータの受け皿を作成します)	 6
3. リストデータの取込(生成したテーブルにリストを投入します)	 7
4. テーブルと業務グループの関連付け(リストの管理単位)	 9
5. 業務グループから業務の割り当て(キャンペーンの管理単位)	 12
6. 業務別の基本設定(電話の動作など)	 15
7. 業務別の画面設定(画面項目構成)	 17
8. 配信サーバーの受付環境設定	 23
9. 業務別のオペレータ登録	 24
10. キャンペーンデータ抽出(発信対象リスト抽出)	 25
11. 配信サーバーの起動(通常はスタートアップにより常駐)	 26

【クライアント上での操作】

12.	クライアントPCの初回セットアップ(インストール時初回のみ)	 27
13.	クライアントプログラムの起動(実際に電話をかけることができます。)	 30

1. 管理プログラムの起動

デスクトップ上の「CallMighty管理画面起動」をダブルクリックし、管理画面へのログイン画面を起動します。



ログイン画面が表示されますので、パスワードは入力せず、「ログオン」ボタンを 押下します。

Call Mighty2 管理システム	、(Ver2.00)		×
Call M	ighty II	サーバ名	OBATA-PC
管理シ	えテム		
オペレータコード	99999999999 S	uperVisor	
パスワード			ログオン 終了
オペレータコードを選択して下さ	()		

下記画面が表示されれば起動完了です。

【業務情報】 業務コード ■ 業務24社	○更新情報 更新日付 更新オペレータ
電気合い 業務グループコード ODBCデータソース名	
テーブル名 主キー項目名 電話番号項目名	
【データチェック】 CCBOデータノース名	
テーブル名 主キー項目名 データ区分項目名	指定した条件で、 指定した条件で、

※尚、管理画面を終了する場合は、画面右上の[×]ボタンを押下することで 終了処理が行われます。 2. テーブルの生成

テーブル生成タブを選択してください。

まずはじめに、リストデータを登録する受け皿(テーブル)を作成します。

本手順では、インストール時にすでに生成されている「TEST」というテーブルを

使用しますので、この手順では生成は行いません。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA	-PC							×
架電デー始出(F1) 業務情報設定(F2)	業務状況印刷(F3) 業務状況監視(F4)	メンテナンス(F5)) オペレータ登録	录(F6)	端末情報設定(F7) 端末画面設定(F8)	サーバー設定(F9) テーブルst	主成(F10) 如台府广与小水-ト(F1	1)] <u>7</u> ↓)
発信対象の元リストとなる受け皿(テ・	ーブル)を準備する画面です。(SQLServer専	(用画面)						
既存設定読出し	TEST	•						
	TFOT							
テーフル名	I datel	表示(207	r 1				
項日1	Custid	- 191X	G		※KFY項目は数字のみで表現され、			
項目2	telNo	20		•	一意となる必要があります。			
項目3	CustName	64	0	0				
項目4	Address1	64	0	С				
項目5	Address2	64	0	0				
項目6	Result	32	0	0				
項目7	ApoDateTime	32	0	0				
項目8			0	0				
項目9			0	0				
項目10			0	0				
項目11			0	0				
項目12			0	0				
項目13			0	0				
項目14			0	0				
項目15		_	0	0				
項目16	[_		0				
項日17				0				
項日10 項日10								
項目20	I			~				
-2020	1			· ·				
	▲テーブル生成実行							
		ana a internationale		- 44 - 0				
	※システム用にインストール	erilet ton	(UM2)		REATE TABLE 25 RETUR 9 .			

・新たなデータを受け入れる場合などは、本画面でテーブルを作成します。

・リストに存在する項目のほかに、結果を記入したいケースがありますので、その項目は、
 実際の項目の後ろに付け加える形としてください。

たとえば、インストール時にコピーされるサンプルのリストデータ (C:¥CallMighty2¥Bin¥Test.csv)がありますが、CustIDからAddress2までの項目しか

ありません。

この項目に結果を記録したいため、Result、ApoDateTimeという項目を付け加えた

テーブルを作成しています。



3. リストデータの取込

外部データインポートタブを選択してください。

作成したテーブルにリストを投入(インポート) します。この作業により、発信用の元リストが システムに登録され、条件抽出により発信リストを作成することができるようになります。

梁電デー州曲也(F1) [案務情報設定(F2) 案務状況印刷(F3) 案務状況整視(F4) ルナナス(F5) オヘロー登録(F6) 端末情報設定(F7) 端末画面設定(F8) サーハー設定(F9) チーフル生成(F1) [外部データ/2ボー(F1)] オ・レ 発信対象の元デークを取り込む画面です。 取り込み対象テーブル TEST 読み込みファイル 「CWCallMathry2WBInWtest.csv ※取り込むデータの先期行にあるタイトル行け割削除しておいてください。 」 既存のデータを割削除してから知しい読み込みファイルの内容を登録する。 を取り込み引除 取り込み引除
発信対象の元デークを取り込む面面です。 取り込み対象テーブル TEST 読み込みファイル O4CollMetht/24Binitest.csv ※取り込むデータの先期行にあらタイル付け割削にておいてください。 一般でのデータを削除してから新しい読み込みファイルの内容を登録する。 取り込み状況
取り込み対象テーブル TEST 読み込みファイル C*CalMighty24BirVetest.csv ※取り込むデータの先時行にあるタイル行は削除しておらいてください。 一 既存のデータを削除してから新しい読み込みファイルの内容を登録する。 取り込み状況
読み込みファイル C+CalMighty24Bin¥test.csv ※取り込むデータの先頭行にあるタイル行は削除しておいてください。 □ 既存のデータを削除してから新しい読み込みファイルの内容を登録する。 ● 取り込み開始 取り込み状況
 ※取り込むデータの先期行にあるタイル行は削除しておいてください。 □ 既存のデータを削除してから新しい読み込みファイルの内容を登録する。 取り込み状況
I 既存のデータを削除してから新しい読み込みファイルの内容を登録する。 取り込み開始 取り込み状況
取り込み構造
取功込み状況

【手順】

①取込対象テーブルで「TEST」というテーブル名を選択します。

- ②読み込みファイルは、フォルダマークから、C:¥CallMighty2¥Bin¥Test.csvというサンプル ファイルを指定します。
- ③「既存のデータを削除してから新しい読込ファイルの内容を登録する」チェックボックスは、 データを洗い替える際にチェックを付けます。
- ④準備ができましたら、「取り込み開始」ボタンを押下します。

⑤下記画面が表示されますので、OKボタンを押下します。

「既存のデータを削除してから新しい読込ファイルの内容を登録する」の チェックをつけない場合。

確認		×
TESTへ、指定されたファイ	ルを追記します。よれ	ろしいですか?
	ОК	(キャンセル)

「既存のデータを削除してから新しい読込ファイルの内容を登録する」の チェックをつけた場合。

確認	×
TESTの内容を一旦削除し、指定されたファイ)	ルを取り込みます。よろしいですか?
	OK キャンセル

⑥データの取込が完了しましたら、下記画面が表示されます。

単純なIDおよび電話番号の項目およそ100万件で、環境にもよりますが3分程度の 処理時間となりますので、このあたりを目安としてください。

終了 🗵
取り込みました。
OK

4. テーブルと業務グループの関連付け

作成したデータベース上のテーブルとCallMighty2の業務グループを関連付けます。

業務グループ=テーブルと読み取ることができ、登録リストの管理単位は業務グループです。

梁電疗一种曲(Fi)業務情報設定(F2)業務状況印刷(F3) 業務状況監視(F4)	メッテナンス(F5) [オヘルーダ登録(F6) [端末情報設定(F7) [端末画面設定(F8) [サーハー設定(F9) [テーブル生成(F10) [外部データインボート(F11) [テ ◀ ▶
┏【業務グループ情報登録(DB上にある元リストとの紐付けを行う設定	です。)]
業務グルーブコード	
ODBCデータソース名	
	■ データチェックを有効にする 【データチェック情報】
快渡车	odbecデータソース名
テーブル名・	
主キー項目名	テーブル名 しんしょう しんしょ しんしょ
	録また中国日名 接続チェック
抽出方式 🗹 この業務グループでの同一キーの抽出	を許可データ区分項目名
	[1:既存データ、2:非架電データ(常にチェック)]
「素紡マスダ情報登録(UB上W元かつ来行指定抽出を行います。リストW	ノタへ こか対象の場合も本エリアで登録する必要があります。)】
業務コード システム登録	雑番 システムで自動的に付任されます 業務コート→宜
業務名称	
業務グループコード 📃 ←緑枠内で打	皆定した業務グループ(DB設定)を選択します
電話番号項目名	-【データチェック(既存データ)】 登録 日 抽出時にデータチェックをする(非架電データ) 登録
抽出方法 🗹 通加ではなく、洗い変えによる抽出を行う	□ 取得時にデータチェックをする 削除 利除
SQL文 "SELECT [主キー項目名] FROM [テーブル名	5] "は自動的に付加されます。

ここで、簡単な関連図を示します。

テーブル=業務グループ |- 業務A(指定条件に従って抽出されたリスト)

|- 業務B(指定条件に従って抽出されたリスト)

|- 業務C(指定条件に従って抽出されたリスト)

というツリーが成り立ちます。テーブルに存在するデータすべてを発信対象とする場合は、 テーブル=業務グループ = 業務(全件)

という考え方も成り立ちます。

次ページに手順を記載いたします。

【手順】

①黄色の枠内にある項目を入力し、「登録」ボタンを押下し、登録します。

業務グループコード:0001(任意、数字10桁まで)を入力します。

ODBCデータソース:cm2を選択します。

テーブル名:TESTを選択します。

主キー項目名:主キー項目入力欄にマウスを持っていくと、TESTテーブルで定義されている 主キー情報が自動的に採用されます。

官理画曲(ver2.00) ServerName:OBATA=PO	
梁電子 ~ 州田出(F1) 朱/所開報處定(F2) 美扮状况目場(F3) 美扮状况监視(F4) 約777/(F5)	- オヘレーダ重線(F6) 編木1情報設定(F7) 編木画面設定(F8) サーハー設定(F9) ナーノル生成(F10) 外部ナーダイノホート(F11) ナー・
【業務グループ情報登録(DB上にある元リストとの紐付けを行う設定です。)】→	[更新情報]
業務グループコード 0001	更新日付 更新オペレータ
	「データチェックを有効にする」
	【データチェック情報】
At 47 million	ODBCデータソース名
テーブル名 TEST ▼	
	テーブル名
登録	主キー項目名
抽出方式 🗹 この業務グループでの 同一キーの 抽出を許可	データ区分項目名
	[1:既存データ、2:非架電データ(常にチェック)]
	一の 提合も大テリマで登録する 心要があります)]
▲ 未務名枠	
業務グループコード ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	物グループ(DB設定)を選択します
電話番号項目名	タチェック(既存データ)] 登録
抽出方法 🔽 追加ではなく、洗い変えによる抽出を行う	出時にデータチェックをする(非栄電テータ)
	apple for the total and the
SQLX SELECT [主キー項目名] FROM [ナーフル名] は自動	

②登録が正常に行われると、業務グループセレクターに、指定の業務グループコードが 追加されます。



③業務グループの関連付けは以上です。

5. 業務グループから業務の割り当て

業務グループに登録されているリストの内、どのような対象者に電話をかけるのかといった 条件を指定するのが「業務の割り当て」作業です。

たとえば、業務グループに登録されているリストの中から、「東京都港区」という 住所のみをターゲットとしたい場合、あるいは、業務グループに登録されている リスト全件というターゲットも可能です。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA-PC 勿愛デンはかり(c1) 業務情報設定(F2) 業務状況に同じ	(co) 「業務状況監想(ca) 「かけかっ(cc)	↓ オペレーカ登録(E6) ↓ 健実博報設字(E7) ↓ 健実画商	(設空/co) [#こがこ設空/co) [テこざ	牛甙(c10) [かぶ?-~かかけ~い(c11) [テ ◀
本电/「対曲工(F1) 本初期181882年(127 果務状況印刷	、F37 未1労1ん元監1況(F47 メノバアンス(F5)	411 V = 3 至 56 (FO))))) (FT)])) (FT)))) (FT)))) (FT)) (FT)] (FT)]) (FT)] (FT)] (FT)]) (FT)] (FT	адиектол уни надиектол 7нл.	עבראער ויטן מרפעז ראיז איז רער ווען <u>זיין איז איז איז איז איז איז איז א</u>
「【業務グルーブ情報登録(DB上にある元リス	トとの紐付けを行う設定です。)】			
ODBCテータワース名 cm2		■ データチェックを有効にする	各録	
		【データチェック情報】		
	接続チェック	ODBCデータソース名	<u> </u>	
テーブル名 TEST	▼ */₽0			
主キー項目名 CustId		テーブル名		
	登録	主キー項目名	接続チェック	
抽出方式 🔽 この業務グルー	ブでの同一キーの抽出を許可	データ区分項目名	クリア	
		[1:既存データ、2:非架電データ(常にチョ	ry9)]	
「【業務マスタ情報登録(DB上の元から条件指定	2抽出を行います。リストのすべてが対	象の場合も本エリアで登録する必要があります	₫.)]	
業務コード <mark>1001</mark>	システム登録連番	システムで自動的に付番されます 🏾 🍍		
業務名称 対象リスト				
業務グルーブコード 0001	←緑枠内で指定した業務	グループ(DB設定)を選択します		
電話番号項目名 telNo			骨錶	
抽出方法 🗹 追加ではなく、洗いる	えによる抽出を行う	時にテーダチェックをする(非梁電テーダ) 時にデータチェックをする		
SQL文 "SELECT [主牛ー項目	名] FROM [テーブル名] "は自動	的に付加されます。	削除	

次ページに手順を記載いたします。

【手順】

①黄色の枠内にある項目を入力し、「登録」ボタンを押下し、登録します。

業務コード:1001(任意、数字10桁まで)を入力します。

業務名称:わかりやすい名称を入力します。

業務グループコード:どのリストを使用するか、業務グループコードを指定します。

電話番号項目名:当該業務グループコードに割り付けられているテーブル定義で、

電話番号と指定されている項目が自動的に採用されます。 変更も可能です。

※本資料では抽出条件はこの画面では登録しません。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA-PC
「発電デジ抽出(F1) 業務情報設定(F2) 業務状況印刷(F3) 業務状況監視(F4) メンテナンス(F5) オヘѷータ室録(F6) 端末情報設定(F7) 端末層面設定(F8) サーバー設定(F9) テーフル生成(F10) 外部デーシインボート(F11) テ��
■「「業務グループ情報登録(DB上にある元リストとの鈕付けを行う設定です。)」」「「(更新情報)
業務グルーブコード 0001 ■ ■ 0001 ■ ■ 0001 ■ ■ ■ 0001 ■ ■ ■ ■
「データチュックを有効にする 登録
接続デェック 接続デェック
主キー項目名 Custid Films テーブル名
登録 主キー項目名 接続チェック
抽出方式 ☑ この業務グループでの同一キーの抽出を許可 データ区分項目名
[1:環存データ、2:非架電データ(常にチェック)]
【業務マスタ情報登録(DB上の元から条件指定抽出を行います。リストのすべてが対象の場合も本エリアで登録する必要があります。)】
来務コード 1001 システム登録連番 システム会員連番 システムから目的の目前がれます 素格コード 一覧
▲ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
業務グルーブコード Doot ■ ■
thu thu charactery control c
SULX SELECT [14+-418] FROM [7-7/b3] to the second s

②登録が正常に行われると、業務コードー覧セレクターに、指定の業務コードが

追加されます。



③業務の割り当ては以上です。

6. 業務別の基本設定

端末情報設定タブを選択してください。

作成した業務別に、主に電話の動作などを指定する画面です。特にダイヤル方式と、

ダイヤル接頭辞(PREFIX)、接尾辞(SUFFIX)はご注意ください。

「衆电チーダ抽出(トリ)」来扔貨物設定(ト2)」来扔(小江口場)(ト3)」来扔(小)温悦(ト4)」メリテン人(ト5)」オペリーダ豆銀(ト6)」 滴べり形成なに、トック 🦛 本回風設定(ト6)」 リーハー設定(ト9)」 デーノル生成(ト10)」 外部チーダインホートトーレーチー
業務選択
1001 対象リスト 文文 した情報を反映させる場合、アールにはアオフルでの特徴動が必要です。
7 ユール
「ダイヤル方式」」「ダイヤル付属文字列ーーーーー」「通話録音モード」」「通話録音フォルダ(フルバスで指定)ーーーーー
● ^ク ート 接頭部(Prefx)接尾部(Suffix) ● クオート 音声ファイル格納フォルダ名 ● ブレビュー ● クォート ● オート ● 日本 ● フェーマル
項目位置 埋め込みデータ 項目位置 埋め込みデータ
「音声ファイル(フルパスで指定)
定型送出音声見出し名 定型送出音声ファイル名 既定
中联接责1
2 2 2 2 2 定形音声2 2 2 2 2
定形音声2 ・ デフォルト 定形音声3 ・ ・ 定形音声4 ・ ・
定形音声2 ・ デフォルト 定形音声3 ・ ・ 定形音声4 ・ ・ ・ 定形音声5 ・ ・ ・
定形音声2 ・ ・ デフォルト 定形音声3 ・ ・ ・ 定形音声4 ・ ・ ・ 定形音声5 ・ ・ ・
定形音声2 ・ デフォルト 定形音声3 ・ ・ 定形音声4 ・ ・ 定形音声5 ・ ・
定形音声2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
定形音声2 ・ ・ デフォルト 定形音声4 ・ ・ ・ 定形音声5 ・ ・ ・
定形音声2 ・ ・ デフォルト 定形音声3 ・ ・ ・ 定形音声4 ・ ・ ・ 定形音声5 ・ ・ ・
定形音声2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
定形音声2 ・ ・ デフォルト 空形音声4 ・ ・ ・ 登録
定形音声3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

次ページに手順を記載いたします。

【手順】

①まず簡単な設定方法として、「デフォルト」ボタンを押下し、デフォルト設定をOKしますと、 標準的な内容が表示されます。



ダイヤル方式:オート(データ配信と同時にダイヤル実行)、プレビュー(データ配信後、

発信ボタンでダイヤル実行)、手動発信(データ配信されず、検索のみ)を 選択できます。

接頭辞(PREFIX):O発信などが必要な環境では、Oを入力してください。

接尾辞(SUFFIX):#などを付け加えることで発信が始まる環境の場合、#を入力してください。



最後に登録ボタンを押下して、登録完了です。

7. 業務別の画面設定

端末画面設定タブを選択してください。

作成した業務別に、クライアント画面用の表示項目を指定することができます。

梁電デーダ曲出(F1) 業務情報設定(F2) 業務状況ED場(F3) 業務状況監視(F4) メンテナンス(F5) オペレー妙登録(F6) 蝶末情報設定(F7)(蝶末値面設定(F9) テーブル生成(F10) 外部データイオード(F11) テ_」
業務資択 ※変更した情報を反映させる場合、クライアントPGの再起動が必要です。
┃
項目2 月日 日本
項目3 月日3 月日3 月日3 月日3 月日3 月日3 月日3 月日3 月日3 月日
項目4 人力画面表示
項目 5 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月
項目 6 月 6 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月
項目 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7 月 7
項目8 人力画面表示
項目 9 月 2 月 3 月 4 月 4 月 4 月 4 月 4 月 4 月 4 月 4 月 4
項目10 項目10 人力画面表示
項目11 項目11 人力画面表示
項目12 項目12 人力画面表示
項目13 月日 日本
項目14 月月日 日本
項目15 月日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日
項目16 月月16 月月16 月月16 月月16 月月16 月月16 月月16 月
項目17 項目17 人力画面表示
項目18 月 日本
項目19 項目19 人力画面表示
項目20 項目20 人力画面表示
登録

次ページに手順を記載いたします。

【手順】

①DB項目欄にて右クリックしますと、選択可能な項目が表示されますので、一つずつ 選択して入力してください。

管理画面(Ver2.00) ServerName:OBATA-PC		- State - Landa (State - Destantion -		
梁電デーダ抽出(F1) 業務情報設定(F2) 業務状況印刷	╣(F3)│業務状況監視(F4)│メンテナンス(F!	5) オベレータ室録(F6) 端末情報設定((F7) 馮木画面設定(F8) サーハー設定(F9)	テーブル生成(F10) タト音ルデータインポート(F11) テ <u>◀ ▶</u>
業務選択		※変更した情報を反映させる	る場合、クライアントPGの再起動が必要です。	
1001 リスト発信業務 🗾 🗉	t°→	•		
+= *				
項目 1 項目 2 項目 2 - 項目 3 - 項目 4 - 項目 5 - 項目 6 - 項目 7 - 項目 7 - 項目 8 - 項目 9 - 項目 10 - 項目 11 - 項目 12 - 項目 13 - 項目 14 - 項目 15 - 項目 16 - 項目 17 -	DB項目名 TelNo CustName Address1 Address2 Result ApoDateTime	漢字入力 - 入力規制 - ┌チェック	 用 定型文書 入力画面表示 	
7月日13 1百日20				
	童録			

②表示名には、日本語名称を入力することができます。下記例のように入力を行ってください。

架電データ抽出(F1) 業務情報設定(F2) 業務状況印刷])(F3) 業務状況監視(F4) メンテナンフ	<(F5)│オペレーク登録(F6)│端末	:情報設定(F7)	端末画面設定(F8) サーバー設定(F9)	△ テーブル生成(F10) │ 外部データインポート(F11) │ テ <u>◀ ▶</u>
業務選択			※変更した情報を	反映させる場合	、クライアントPGの再起動が必要です。	
1001 川フト発		e	T			
1001 9XFH						
	【 衣示治	DB坝日名	┌漢字入力┐┌入力規制╴	「 ^{チェック用} 」	定型文書	
項目 1	顧客ID	CustId			入力画面表示	
項目 2	電話番号	telNo		🗆	入力画面表示	
項目 3	顧客名	CustName			入力画面表示	
項目 4	住所1	Address1			入力画面表示	
項目 5	住所2	Address2			入力画面表示	
項目 6	結果	Result			入力画面表示	
項目 7	アポイント日時	Apo Date Time			入力画面表示	
項目 8					入力画面表示	
項目 9					入力画面表示	
項目10					入力画面表示	
項目11					入力画面表示	
項目12					入力画面表示	
項目13					入力画面表示	
項目14					人力画面表示	
項目15					人力画面表示	
項目16					人力画面表示	
項目1/						
項日18						
項目13					人刀画面表示	
項日20					人力画面衣示	
	<u>[</u>	·				
		合 4	a.			
			*			

③項目6の右手の入力画面表示ボタンを押下し、定型文書登録画面を表示します。

ここでは、結果入力などの定型文字を登録しておくことができます。(入力時にフリー入力も できます。)

下記黄色の枠内のように入力し、「登録」ボタンを押下してください。

架電デー対由出(F1)	業務情報設定()	F2) 業務状況印刷(F3) 業務状況監視(F4) メンテナ	ンス <f5) th="" ="" オヘ∿ータ登録(f6)="" サーバー設定(f9)="" テ・【・<="" テーブル生成(f10)="" 外部データインポート(f11)="" 端末情報設定(f7)="" 端末画面設定<f8)=""></f5)>
業務選択			※変更した情報を反映させる場合、クライアントPGの再起動が必要です。
1001 川フト発信	業務		
	145170		
	表示名	DB項目名	
項目 1	顧客ID	CustId	
項目 2	電話番号	telNo	
項目3	顧客名	CustName	
項日 4	住所自		<u>日付入力用(YYYY/MW/DD形式)</u>
	住用と		<u>時刻人力用(HHMM形式)</u>
項日 0 項日 7	ロボイ		<u>日行時刻入力用(YYYY/MM/DD_HH.MM形式)</u>
項目8		宁型文書登録[佰日 6]	
項目 9		定主人冒立致,項目 0]	
項目10		不要 アポイント	
項目11		資料請求	
項目12			
項目13			
項目14			
項目15			
項目16			
項日17			
項目10			
項目20			
,			
		※置換キーワードを使用している場合、実	際の発信画面での表示を見て 登録 周辺る
		正しく設定されているかを確認して下	

④項目7の右手の入力画面表示ボタンを押下し、定型文書登録画面を表示します。 ここでは、日付時刻入力を行うことができるよう、簡易指定コマンドボタンを押下して、 「登録」ボタンを押下してください。



⑤下記の画面に戻りましたら、「登録」ボタンを押下し、画面設定を完了します。

管理画面(Ver2.00)	ServerName:OBATA-PC		⊐(cc) [.t.% b7%8](co) [.t			
梁电F~如田出(F1)	耒務情報設定(F2) 耒務抵沈中場	J(F3) 果鹅袄洗監悓(F4) X)777).	人(F5) オペレーダ宣(球(F6) メ	禹木'I育報設定(F/) ³⁷	「不回回設定(FO/ 7-//-設定(F9/)	
業務選択			※ 変更した情報	を反映させる場合、	クライアントPGの再起動が必要です。	
1001 リスト発信	業務 ▼ 」北	°→	•			
	+ = 2					
	衣示名				E 坐 人 香	
項目	顧客ID	CustId			人力画面表示	
項目 2	電話番号	telNo			人力画面表示	
項目 3	顧客名	CustName			入力画面表示	
項目 4	住所1	Address1			入力画面表示	
項目 5	住所2	Address2			入力画面表示	
項目 6	結果	Result			入力画面表示	
項目 7	アホイント日時	ApoDateTime			入力画面表示	
項目 8					入力画面表示	
項目 9					人力画面表示	
項目10					入力画面表示	
項目11					入力画面表示	
項目12					人力画面表示	
項目13					人力画面表示	
項目14					入力画面表示	
項目15						
項目16					人力画面表示	
項目1/					人力画面表示	
項目18						
項目19						
項日20					人刀画面表示	
	<u> </u>	L				
		245	24			
			\$*			

8. 配信サーバーの受付環境設定

サーバー設定タブを選択してください。

配信サーバーの所在などをシステム内で統一するため、サーバーIPアドレスを記入し、 「設定変更」ボタンを押下して、情報を確定してください。

インストール直後は情報が表示されているだけですので、この登録操作が必須です。





※この手順では再起動は不要です。

後程再起動もしくは起動しますので、「OK」を押下しておいてください。

9. 業務別のオペレータ登録

オペレータ登録タブを選択してください。

業務ごとに担当するオペレータを登録することができます。

業務ごとに分けるメリットとしては、間違った業務にログインしないようにすることなどです。

電理画面(Ver2.00) ServerName:UBATA-PC 梁電デー始出(F1) [業務情報設定(F2)] 業務状況印刷(F3)	│ │業務状況監視(F4)│ メンテナ	ッス(F5) オペレータ登録(F6)	端末情報語	殳定(F7) 端末画	面設定(F8) サー	ヽヾー設定(F9)│テ੶	−ブル生成(F10)│外部データイン	⊻ #°h(F11) 7
業務選択								
1001 リスト発信業務	_	※変更した情報	最を反映させ	る場合、クライアン	トPGの 再起動が	必要です。		
■オペレーク情報祭会	┌オベレータ登録一覧──							
オイレータコード	コード番号	オペレータ名	バスワー	権[付属情報1	付属情報2	付属情報3		
<u>eeeeeeee</u>	1 1111	1111 SuperViser	1111	9 管理者 ()	<u>له م</u>			
オペレータ名 SurgerVisor		Joupervisor		4 6 +± 13 ()				
ログオン パスワード								
オペレータ特層情報								
「通話機器								
● 0. (9) E9) ● 1:電話機								
 ● オペレータ ● 下位管理者 								
 ● 上位管理者 								
音録								
1001 リスト 発信業務 ▼								
に コピー する						Þ		

ここでは、下記の指定を行い、「登録」ボタンを押下してください。 オペレータコード:1111

オペレータ名:テスト(任意)

ログオンパスワード:1111

10. キャンペーンデータ(業務別発信対象リスト)の抽出

架電データ抽出タブを選択してください。

この画面で、実際の業務グループに関連付けられたテーブルから、発信対象のデータを 抽出し、業務用の発信リストを作成することができます。

ここで、抽出条件を都度、指定することができます。

【業務情報】 業務コード <mark>【1001</mark> ▼】 業務名称	▼東新情報 更新日付 更新オペレータ 20141009 999999999 SuperVisor	抽出条件はこち
リスト発信業務 業務グルーブユード 1000 ODB0データソース名 om2	【抽出条件】 □ この業務グループでは同一人物の抽出を許可する □ 追加ではなく、洗い営入による抽出を行う □ デークチェックをする(既存デーク, 非然電デーク) ※非架電データを常にチェック □ 脱得時にデークチェックをする(既存デーク)	らで指定できます。
テーブル名 TEST 主キー項目名 Custid 電話番号項目名 teTNo (デークチェック) 0080データルース名	SOL文 SELECT * FROM TEST	抽出予定のデー タのプレビューを 行うことができま す。
テーブル名 主キー項目名 データ区分項目名	指定した条件により 作が抽出されました 指定した条件で、 0 回の抽出を行いました。 抽出実行)

全件抽出の場合は、そのまま「抽出実行」ボタンを押下すると、抽出が始まります。

抽出梦	開始します。よろしいですか?	×
	OK (キャンセル	

画面上に完了メッセージが表示されるまでお待ちください。

抽出完了時には、システム内部に発信管理用のリストが作成されます。

(特に目に見えるものではありません。)

抽出が終わりましたら、画面右上の[×]ボタンによって、管理画面を終了してください。

11. 配信サーバーの起動

通常はスタートアップから起動し、常駐します。

すでに起動されている状態の場合、念のためいったん終了し、下記手順にて再起動を お願いいたします。

下記赤丸印内に、終了のための隠しボタンがありますので、クリックして終了してください。



デスクトップ上の「CallMightyServer起動」ショートカットをダブルクリックし起動してください。



下記画面が表示されたら終了です。

CallMighty I dataServer (Ver2.00)			
Server	OBATA-PC		
Network Status	🕒 🛛 Lock Status		
Message Status	Pack Status 🔵		
Message Stack	0%		
Terminal connections	0%		
Show detail	0 10		

以上でサーバー上での操作を終了します。

12. クライアントPCの初回セットアップ(初期化ファイルの設定) この操作はクライアントPCでの操作で、インストール直後初回のみです。 エクスプローラより、C:¥Callmighty2¥Bin配下を参照します。



Client.iniを探し、ダブルクリックしてメモ帳などで起動してください。

スタートアップガイド

下記のようにファイルが開き	ましたら、必要な情報を記入して、上書き保存してください。
SERVERNAME	:サーバー機のネットワーク上の名称もしくはIPアドレスを指定
POLARITY	:電話回線の種別として極性反転が上がるタイプのもので
	あれば、1を指定。なければ0を指定してください。
ONHOOK	:通常は変更を行わないでください。
MIXER	:通常は変更を行わないでください。
LOG	:クライアントのログ保存数を指定します。
	ログの単位は日別ファイルですのでイメージでは90日分、
	保管する指定となります。
WARNINIG	:電話をかけていない状態が指定時間(ミリ秒)続くと、
	バルーン表示となり、アイコントレー付近に警告メッセージが
	でます。電話をかけてリストを先に進めるよう催促をする
	意図があります。(180000ミリ秒=180秒=3分)

/■client.ini - メモ帳	- D ×
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルブ(H)	
[CONFIG]	<u> </u>
SERVERNAME=ServerName	
POLARITY=1	
ONHOOK=3000	
MIXER=1500	
LOG=90	
WARNING=180000	
	-

たとえば、IPアドレス設定後のイメージは下記を参照ください。

IIIIclient.ini - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
[CONFIG]	<u></u>
SERVERNAME=127.0.0.1	
POLARITY=1	
ONHOOK=3000	
MIXER=1500	
LOG=90	
WARNING=180000	
	-

13. クライアントプログラムの起動

最後に、実際に電話をかけるクライアントプログラムを起動します。

起動するとメイン画面には、最初に配信されたデータが表示されます。

デスクトップ上の「CallMightyClient起動」ショートカットをダブルクリックで起動してください。



ログイン画面が表示されますので、業務コード、オペレータコード、パスワードを入力し、 「ログオン」ボタンを押下してください。

CallMightyII(2.00)	
CallMighty II II II III III III III III III III	
発信システム	
業務コード 1001 リスト発信業務	·
オペレータコード 1111 1111	
パスワード ****	▲終了(※)

下記のメイン画面が表示されましたら起動完了です。「ダイヤル」ボタンを押下して、

電話発信ができるかお試しください。(当社代表にかかります。)

(冒発信処理(業務名りスト	発信業務 オペレータะ1	111)極反あり								
「システムメッセージーー				回線状況		処理状況		「リトライ回動	ŧ	
データ取得完了。				回線状態 切 <mark>断</mark>	径過時間 0	□ 取得件数 1	完了件数 0	話中 0	不出 0	指定架電
ダイヤル方式			録音モード				データ取行	身要求———	データ取得種	69
オート(@) プレビュ	-(<u>E)</u> ダイヤル(<u>U</u>)	切断(Q)	自動(<u>A</u>)	手動(<u>D</u>)	錄音(<u>J</u>)	停止(」)	 ● 通常 ○ 架電 	スト優先	NORMAL BUSY	NOANSWER APPOINT
項目名称		データ [Cu	stIdの検索はこ	ニをクリック(<u>T</u>)]		1	オペレータ	いルブ――	100.118	
顧客ID	1000					-		LoerverNar のように	nej#Ualim 百由に	ighty2#oph 記述してく
電話番号	0354192567					-	⊕ アイ	テム1		
顧客名	ソフトマティッ	,ク(代表)				-	⊡∽アイ	テム2		
住所1	東京都					•				
住所2	港区芝					•				
結果						-				
アポイント 日時						•				
						~				
						~	•			Þ
						~	-× -			
						~				
						~				
						~				
						~				
	ļ					<u> </u>				
	ļ					_				
						~				
						~	ーマイク会		-72-1	音量
						<u> </u>	0小 0	中 0 大	040	• 中 • 大
	I									
F1 F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8		F9	F10	F12
処理完了 指定架	電 保留	音声送出	会話履歴	発信履歴	割込リスト	スキップ		話変更▲ 📲	『話変更▼	業務終了

CallMightyⅡ スタートアップガイド

発行:ソフトマティック株式会社 〒105-0014 東京都港区芝3丁目14-6磯島ビル2F

©Softmatic inc. All Rights Reserved.